▼複十字シール運動とは

複十字シール運動は、結核を中心とした胸の病気をなくして、 健康で明るい社会をつくるための運動です。その実現のために 募金活動を行うとともに、病気への理解を広め、予防の大切さ を伝えています。

Double-Barred Cross Seal is dedicated to raising funds for programs to eliminate tuberculosis and other lung diseases and raising awareness of the diseases. It is originated from the world's first Christmas seal issued in Denmark in 1904. The seals are issued in many countries.

十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

「運動のはじまりと複十字シールについて

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その益金は結 核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動 は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は 1952 年に最初のシールを発行しました。



今年度の複十字シールに込めた想い

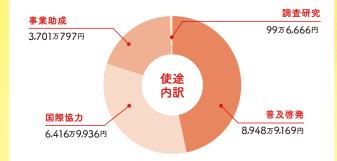
"ぼくらは、一人一人ではなくて、たくさんの生き物や自然と共に生き ている"をテーマに「森と動物」の世界をシールにしました。それぞ れのシールが、全体の絵につながるようにデザインしたことも今回の テーマを表しています。

図案制作者のイラストレーターあさいとおる氏は結核の治療経験が あり、結核予防に高い関心をお持ちです。

2019年度募金報告

2億6,300万5,787円

1億9,166万6,568円



税の優遇措置・表彰制度

募金は、寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措 置を受けることができます。

年間個人50万円、法人100万円以上の募金をいただ いた方に、結核予防会の規定により、式典において 結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下名の感謝状の贈 呈がございます。

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた昭和14年に内閣総理大臣に賜った皇 后陛下の令旨に基づき設立された公益法人。設立以来、日本と世界 から結核をなくすための活動を続けている。

問い合わせ

複十字シール募金は下記にて受け付けています。 お気軽にご相談ください。

公益財団法人結核予防会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12 https://www.jatahq.org

(事業部募金推進課)

結(核)のない未来のために みんなの想いを届けよう

シールぼうや





主催: +公益財団法人結核予防会

後 援 : 厚生労働省・文部科学省・

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

今だから、正しく知ってほしい

感 染症 のこと

日本でも世界でも、

正しい知識を持つことで救える命があります。 「結核のいま」と「結核のこれから」について、 一緒に考えてみませんか。

2调間以 F. 咳などの症状が続いたら 結核を疑って医療機関を 受診しましょう。

結核とは

結核は結核菌を吸い込むことで感染する 病気です。免疫力が弱まっていると発病 しやすくなります。薬で治るようになりまし たが、早期発見・早期治療が重要です。



|ごあいさつ|

1952年、世界との連帯を深め、結核予防を国民の協力と支持を得 て進めていこうという意図の下に、複十字シール運動が始まりました。 以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携し運動を進めています。

皆様からいただいた募金は正しい知識を普及するための教育・広 報・啓発、結核のまん延する開発途上国の結核対策の支援・人材育成 等の活動に使わせていただきます。

世界では、薬の効かない多剤耐性結核や結核とHIV/エイズの重 複感染結核が対策を困難にしています。さらに、世界に広がる新型コ ロナウイルス感染症(COVID-19)の影響によって、結核の重症化や 死亡者数の増加が懸念されています。

これ以上、結核で命を落とす人や結核で苦 しむ人のいない世界を目指して、結核予防会 は結核制圧の手を緩めることなく、国内外の 活動の強化に努めてまいります。複十字シー ル募金への皆さまのご支援ご協力をお願い 申し上げます。



公益財団法人結核予防会 理事長 工藤 翔二

■本の結核DATA

結核を 発病する人 15,590

結核で 失われる命

2,204

患者の高齢化 結核患者の6割が70歳以上

高齢になるほど発病者が増え、約3人に1人 は80歳以上です。日本で結核がまん延した 時代に感染を受けたことが影響しています。





外国生まれの患者増 20代の患者の7割が外国生まれ

近年の世界的な人口移動にともない、留学・ 就業で結核罹患率が高い途上国(アジア)か ら多くの若年層が入国しています。



具体的な活動

患者数が減少し、結核への関心が低下しているため、普及 啓発に重点をおいています。



全国の協力団体を通じた 啓発キャンペーン



結核予防婦人団体の 講習会



ポスター・パンフレットなどの



発病する人

年間約 1,000 万人

結核で 失われる命

150

世界の死亡原因のトップ10 総人口の約1/4が既に結核に感染

世界では結核が死亡原因のトップ10に入っていま す。新型コロナウイルスの世界的流行により、結核 の重症化や死亡者の増加が懸念されています。





アジア・アフリカでの深刻化

全世界の患者の7割がアジア・アフリカ

保健医療・結核対策の遅れや貧困から、多くの 人が治療できる病気である結核に苦しみ、命を 落としています。



具体的な活動

国内の活動で培った技術、知識、経験を活かして、世界の 人々を結核から守るために国際協力に取り組んでいます。



住民ボランティアの育成



医療従事者への 技術指導



皆様から いただいた募金は、 このような活動に 大切に使わせて いただいています。

募金による 主な活動地域

- ◆ザンビア ◆カンボジア
- **◆ネパール** ◆ミャンマー